

別紙 [ 1 ] 各当事者提供データ

提供当事者	データの説明	利用権限の内容	提供方法
	<p>(記載例 1)</p> <p>以下の項目を有する、〇〇の臨床試験結果に係るデータ</p> <p>A 被験者人数</p> <p>B 被験者年齢構成</p> <p>C 試験期間</p> <p>D 検査結果項目△</p> <p>E 検査結果項目◇</p>	<p>(記載例 1)</p> <p>左記提供当事者は無制限に、当該提供当事者以外の本当事者は本研究の目的に限り、それぞれ利用することができる。</p> <p>(記載例 2)</p> <p>左記提供当事者は無制限の利用権限を、また、当該提供当事者以外の本当事者は第三者への開示、利用許諾及び譲渡以外の利用権限を、それぞれ有する。</p>	<p>(記載例 1)</p> <p>表面に「甲大学〇〇〇データ (No. xxxxxx)」と記載された CD-ROM</p> <p>(記載例 2)</p> <p>甲大学〇〇研究室内 PC 上においてのみ</p>

<解説>

- ・「提供当事者」の欄には、対象となるデータを提供する当事者を「甲」「乙」などと記入します。
- ・「データの説明」の欄には、対象となるデータを特定するに足る情報を記入します。当該データがどのような項目の集合により構成されているかを示すことが有益です。
- ・「利用権限の内容」の欄には、対象となるデータを各当事者にどのような権限を認めるかを記入します。上記記入例 1 は、コンソーシアムの研究目的のみ利用を認める例、上記記入例 2 は、研究以外の目的にも利用を認めつつデータの陳腐化を防ぐために第三者への開示は制限している例です。なお、データを元々保有し、当該データをコンソーシアムの研究のために提供した当事者は、当該データの利用について制約を受けないはずですが、上記記入例では、注意的にその旨を規定しています。
- ・「提供方法」の欄には、提供当事者がどのような方法で対象となるデータを他の当事者に利用させるかについて記入します。上記記入例 1 は、CD-ROM に複製して提供する例、上記記入例 2 は、大学の研究室内でのみ利用を認める例です。

別紙 [ 2 ] 本成果データ

データ集計対象期間	データの説明	利用権限の内容	記憶媒体の表示
(記入例 1) 2087/〇/〇-2018/〇/〇  (記入例 2) 本研究の実施期間	(記入例 1) 甲が左記期間に、〇〇所在の甲の研究室において取得した以下のデータ A 加工時間 B アラーム時間 C 主軸負担 D 油圧 E 振動 F その他上記に関連するデータ  (記入例 2) 乙が左記期間に、〇〇所在の乙の工場において取得した以下のデータ A 自動運転時間 B 停止時間 C 電流 D 位置偏差 E モーター負荷 F モーター温度 G 消費電力 H 異常負荷トルク J その他上記に関連するデータ	(記入例 1) 各本当事者は、無償で利用する権限 (但し、第三者への開示、利用許諾及び譲渡する権限を除く。) を有する。  (記入例 2) 各本当事者は、本知的財産権に準じ、第 15 条及び第 16 条に従い利用権限を有する (但し、第三者に対する開示を伴う利用を行う場合、当該第三者に対して [第 23 条に準じた] / [無期限の] 秘密保持義務を課さなければならない。)  (記入例 3) 本当事者が別途協議して合意により定める。	(記入例 1) 表面に「乙会社 〇〇〇データ (No. xxxxxx)」 と記載された CD-ROM  (記入例 2) CD-ROM その他 本当事者が合意 する媒体に記録 される

<解説>

- ・「データ集計対象期間」の欄には、コンソーシアムの共同研究のどの期間に集計するデータを対象とするかを記入するものです。期間を特定できなければ、上記記入例 2 のように研究実施期間と特定することになります。
- ・「データの説明」の欄には、データを特定するに足る情報を記入します。当該データがどのような項目の集合により構成されているかを示すことが有益です。
- ・「利用権限の内容」の欄には、対象となるデータを各当事者にどのような権限を認めるかを記入します。上記記入例 1 は、研究以外の目的にも無償の利用を認めつつデータの陳腐化を防ぐために第三者への開示は制限している例、上記記入例 2 は、他の特許等と同様の活用方法としつつも第三者に開示する場合には秘密保持義務を課すこととしている例、上記記入例 3 は、研究開始時点で活用方法を定めることができなかった場合の例です。
- ・「記憶媒体の表示」の欄には、どのような形で本成果データを保存して置くかを記入し、記録媒体の観点から本成果活用データを特定するためのものです。